

園長だより

コロナ禍の中での保育

残暑厳しい中にも秋の気配が感じられ酷暑も峠を過ぎたように思われます。

その中であっても新型コロナウイルス感染症は一向に終息の気配が感じられません。三密を避け保育を継続することはとても難しい問題です。そのためにはウイルスを持ち込まないことが肝要です。お互い十分注意を払い罹患しないようにしなければなりません、万が一罹患した場合は、速やかに対応することが必要です。

保育士は、園児の机や玩具の除菌に対応するため日々多くの時間を費やしています。その負担を軽減することと、安心して保育に取り組めるようクラス毎に業務用オゾン発生器を導入します。これにより、保育室の消臭・除菌ができ、玩具の除菌もできます。ウイズコロナの時代必要な措置と考えております。ご理解頂きたく存じます。



今後の行事として10月10日には運動会を予定しています。多くの行事が中止されるなか、コロナ対策を十分配慮しながら無事開催できますようご協力をお願いします。

子どもたちも運動会に向け練習に取り組みますが、お子様の体調管理には十分ご配慮賜りたく存じます。

新型コロナウイルス感染症の初期症状として1、味覚・嗅覚の異常 2、頭痛 3、発熱 4、筋肉痛・疲労感 4、咳・息切れ・呼吸困難などの症状が特徴です。このような症状が見られる場合はお休みをとるなど、お願いします。

保育は集団の場です。保育を守るためにはみんなの協力が必要です。よろしく願いいたします。